

図 小単元内課題別学習の指導モデル

	学 習 指 導 過 程	教 師 の 指 導
目標分析・実態把握		<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領、指導書を基に、小単元の指導目標、評価目標を明確にする。 ○ 児童の実態を、運動技能の自己たしかめ、教材についての興味・程度、性格の特徴などからとらえ、個や学級の実態に即した指導の方針を立てる。 ○ 教師の意図を児童に明確に伝える方法を講ずる。
課題の設定		<ul style="list-style-type: none"> ① 児童の実態に即した小単元の目標を提示する。 ② 運動技能の自己たしかめと、小単元の目標を基にして、個の意志で課題を立てさせる。 ③ 個の意志で立てた課題が、個の能力に適したものであるかを確かめる。 ④ 個の意志を尊重しながら、適切な課題が設定できるよう助言する。 ⑤ 自己の課題を解決するためのメニュー(運動内容)を選択・作成させる。 ⑥ 課題にそったメニューであるか確かめる。 ⑦ 個の意志を認めながら、適切なメニューを選択・作成できるよう助言する。
課題解決の努力		<ul style="list-style-type: none"> ⑧ ⑤で立てた運動を行うための具体的めあてを作成させる。 ⑨ 適切なめあてであるかどうか確かめる。 ⑩ 個の考えを認めながら、こまかな点まで助言する。 ⑪ 課題解決のための運動をさせる。 ⑫ 個々の運動が、課題解決の見通しにそって、根気強くなされているかどうか確かめる。 ⑬ 個の課題、具体的なめあてに応じ、指導・援助する。 ⑭ 個の判断に基づいて、必要があれば、メニューと具体的めあてを修正させる。 ⑮ 課題解決の過程を自己評価・相互評価をさせ、次時への意欲を喚起させる。 ⑯ ⑧→⑮を1単位時間の学習指導過程とし、小単元の配当時数により、この過程をくり返す。 ⑰ 自己の課題解決の状況を発表(演技)させる。
まとめ		<p>※ 評価 (小単元の目標に照らした教師の評価)</p>